

1992年夏のワークショップ ポジションペーパー

編集 松原 仁 (電総研)

このワークショップのねらいは、人工知能における重要課題について集中的な討論を行なって、今後の研究方向を模索することにある。今年の全体テーマは「人工知能パラダイム〇〇のここが好きここが嫌い」である。

人工知能研究においてどのようなパラダイムを採用するかは研究者の好き嫌いに端を発することが多いが、一般の研究発表では好き嫌いを表に出さずにいわゆる客観的な理屈付けをすることが求められてる。ときには全面的に好き嫌いを表に出して議論するのが有意義と考えて上記のテーマを設定した。

ここにこれらのテーマに関して投稿された15件のポジションペーパーを収録した。

Position Papers for Summer Workshop '92

Edited by Hitoshi Matsubara (Electrotechnical Laboratory)

The purpose of this workshop is to explore the future direction of Artificial Intelligence, by an intensive discussion based on position papers on selected subjects. The main theme of this year is "My likes and dislikes about Artificial Intelligence paradigms".

'Which AI paradigms do you like?'

'Which AI paradigms do you dislike?'

This article is a collection of fifteen position papers submitted to the workshop.